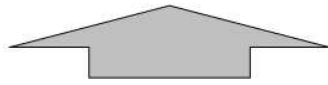


事務事業名 ちくしの歴史・文化発信事業

出力日：令和06年03月18日

キーコード：694

施策：	21	歴史・文化の継承と振興	財務コード	01090608-03-570
基本事業：	03	歴史学習の機会提供	担当部	教育部
基本事業の成果指標	歴史・文化に関する学習会等に参加した市民の数		担当課	文化財課
	歴史・文化に関する体験学習等に参加した児童・生徒の数		担当係	博物館担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～		新規・継続	継続	会計区分			実施計画	
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
市民、在勤・通学者、福岡都市圏住民 教育・研究機関 歴史、文化・芸術関係団体			常設展は通年展示しており、古くから交通の要衝としてさまざまな人やモノの交流があった本市の特徴を生かして「交易と旅」をテーマとし、原始から近代に至る「通史」を展示 企画展は年4回実施 ものがたりからみる武蔵寺縁起展 筑紫野市のお宝もの展 古文書からの伝言其の三展 筑紫野市のうつりかわり展 〇ロビー展示は8回実施 筑紫野市50年のあゆみ展、山家岩戸神楽展他 〇学習支援は、主催講座15回実施、小学校や地域等への職員の派遣24件、博物館ボランティアの活動支援、SNSを活用した「ごきげんよう！考古学」（ツイッター）による学習情報の発信、小学校への昔の道具の貸出、パッケージ資料の製作と貸出を実施						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）			〇学習支援は、主催講座15回実施、小学校や地域等への職員の派遣24件、博物館ボランティアの活動支援、SNSを活用した「ごきげんよう！考古学」（ツイッター）による学習情報の発信、小学校への昔の道具の貸出、パッケージ資料の製作と貸出を実施						
地域への理解を深め、市民の自治能力の向上を図ります。市民に対し、学習意欲の喚起を促し、地域学習の推進を図ります。市の施策・事業や市民活動に対し、資料提供、助言を行なうとともにこれを支援します。学校教育に対し資料提供、並びに教育支援を行います。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	03年度実績	04年度実績	05年度当初	06年度要求	07年度計画	08年度計画	目標
問い合わせへの学習支援数		回	168	362	200				
来館者数		人	5,667	11,088	10,000				
5. コスト									
事業費		計	千円	1,606	1,870	2,041	1,939		
		国	千円	0	0	0	0		
		県	千円	0	0	0	0		
		地方債	千円	0	0	0	0		
		その他一般	千円	0	0	0	0		
正職員人工数		人工	1.5	1.5	1.5				
正職員人件費		千円	11,882	11,592	11,723				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	13,488	13,462	13,764	1,939			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	令和4年度は、企画展4回、ロビー展8回を実施しました。1年間を通じ市制施行50周年を祝した展示を行い、展示の観覧者数は8038人と昨年度の3923人と比べ4115人増となりました。また、各コミュニティをはじめ、記念事業にかかる相談や資料の提供など多くの支援を行いました。コロナ禍における学習支援については、SNSで学ぶ歴史と文化事業第4弾「ごきげんよう！考古学」（ツイッター）による学習情報の発信、小学校3年生社会科の授業支援を目的とした昔の道具（民俗資料）の貸出、パッケージ資料は新たに「七郎兵衛と鉄砲用水」を製作し貸出しています。また、R03のツイッターで発信した場所を巡る「ぶらりちくしのウォーキング」や、文化財課職員による歴史講座「文化薫道」を試験実施するなど、新たな企画を立案し、事業を進めています。								
どちらかといえばあがっている									
あがっていない（停滞・低下）									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし	平成30年度に正規職員の学芸員が退職し、令和2年度に文化財技師が博物館学芸員として配置されたが、収蔵資料に精通し、多分野の資料を適正に取扱い、企画展や学習支援を行うには数年の育成期間が必要である。博物館学芸員としての知識と技術の継承をいかに行うかが今後の課題である。					
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は大	業務推進課題	あり						
成果向上余地	大きい								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）									
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）			改善方向性		維持 見直し 廃止 事業終了				
常設展については、開館から25年を経過し、映像機器、照明機器及び展示設備に老朽化による不具合が生じ、見学に支障が出ています。常設展のリニューアルに向け検討が必要です。企画展示室の照明機器に不具合が生じ、展示に影響がでているため、早急な対応が必要です。			博物館を含む文化財課のホームページをリニューアルし、来館しなくても様々な情報や学習情報を提供できる環境を整えることで、市民の歴史学習の機会を得るための選択肢が増え、また利便性が高まると考えます。リニューアルに向け検討が必要です。当面は、SMSを利用した学習情報の発信や貸出資料のパッケージ化などを中心に進めていきたい。						
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）			備考・特記事項 or 進行管理欄						
これまで、企画展示や講座等を行い博物館が郷土の歴史や文化について発信することが主であった。近年は、地域のコミュニティが地元の歴史や文化について積極的に事業を展開しており、その支援を行うことが増えている。									